

ふなだた

No.169
29年/1



発行：山形県舟形町議会
平成29年1月27日



舟形地区



富長・堀内地区



紫山町内会



長沢地区



幅町内会

年頭のあいさつ.....	2 P
10月臨時会・12月定例会概要・質疑応答.....	3 P
町政を問う.....	5 P
議会活動・人事案件・請願・意見書.....	12 P
えがったなあ・町民の声・編集後記.....	14 P

- ◎農業用施設災害復旧事業…1億681万円
- ◎林道施設災害復旧事業…773万円
- ◎公共土木施設災害復旧事業…7380万円
- ◎公共施設等災害復旧事業…358万円
- ◎トイレ洋式化工事ほか…718万円



豪雨による法面崩落現場（旧堀内小下）

主な事業

第5回臨時会は10月5日に開催され、台風による豪雨災害復旧事業、あゆっこ村及び十二河原公園等のトイレ洋式化工事など補正予算を原案通り可決しました。

12月定例会は、6日から8日までの日程で開催され、一般・特別会計補正予算、条例の制定、人事案件等、全議案を原案通り賛成多数で可決しました。

一般質問は6名の議員が町政全般にわたり質問しました。

第5回臨時会
10月5日
12月定例会
12月6日～8日

臨時会 激甚災害(台風7号・9号・10号)復旧費他 総額1億9910万円を計上

主な審議された議案

第5回臨時会

- 平成28年度一般会計補正予算

12月定例会

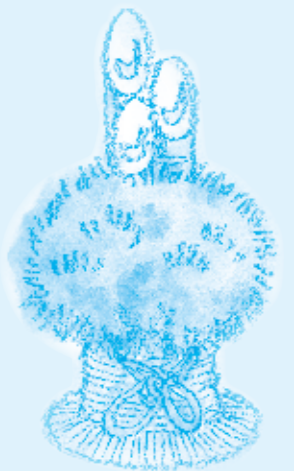
- 平成28年度一般会計・特別会計補正予算
- 町農業委員会委員等の定数に関する条例の設定
- 条例の制定
 - 一般職・特別職の給与の一部改正
 - 税条例・国民健康保険税条例の一部改正
- 町有財産の処分
- 町固定資産評価審査委員の選任
- 町人権擁護委員の推薦



町議会議員長 八 欽 太

「年頭によせて」

明けましておめでとございます。



町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年熊本地震をはじめ、全国各地で地震や台風、大規模火災など大きな災害が相次ぎ、町においても台風による被害が発生しました。被災された皆様に対して心よりお見舞いを申し上げます。

2月には、平成4年以來24年ぶりに行われた町長選挙により、森富広新町長が誕生し、心を新たにしているの新年スタートとなりましたが、議会といたしましては是々非々、継続性と効率的な町の行政運営を対局として取り組んで参りました。

皆様のご理解、ご協力により円滑な議会運営ができましたことに、心より厚く御礼申し上げます。

地方創生、地方の時代とは言っても地方への新しい人の流れを作る特効薬を見つかる手立は容易ではなく、相変わらず人や物は大都市へと流れ、地方経済の低迷と、過疎化による地域格差は広がるばかりです。

こうした現状の中で、町にとって大切なことは、今地域に住んでいる皆さんが安全、安心を柱に暮らしやすさを実感できるまちづくりが重要課題であると考えております。

議会といたしても、住民の代表として、町の意思決定及び執行機関の監視といった使命を全うできますように一丸となって機能強化に努めてまいりますので、一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様にとりまして本年が健やかで幸多い年でありますようご祈念申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。

議長	八 欽 太
副議長	加藤 憲彦
議員	叶内 富夫
	佐藤 広幸
	齋藤 好彦
	奥山 謙三
	佐藤 勇
	石山 和春
	小国 浩文
	伊藤 欽一
事務局長	斉藤 洋一
事務局	石川 忍

質 答 応 疑

第5回臨時会

平成28年度一般会計補正予算

議員 農業振興、耕作放棄地解消の観点から、60数か所の災害地について災害復旧する計画であるが、復旧後も農業は継続される予定なのか。

町長 農業を継続する意向を確認した60数か所について、災害復旧工事を計画しています。農業を継続しない土地についても原形復旧工事をしていきます。



台風9号により流出した大持橋（沢内川）

平成28年度一般会計補正予算

議員 山形県孫育て交流サロン事業補助金50万円が計上されているが、その目的と具体的な事業内容は。

教育次長 高齢者とはほえみ保育園児童が伝統行事などを通じて交流を進めるための、備品購入等を行う予定です。

議員 農業委員の公募開始時期と最適化推進委員の仕事内容は。

産業振興課長 新制度が平成29年4月1日から施行されるため、1月から公募を始めます。

推進委員の業務は、①農業者との話し合いの場を作る②担い手農家等に農地のあっせんをする③遊休農地発生の解消に向けた農地利用の調査などです。

議員 灯油購入費助成金130万円は、対象が何世帯で、1世帯の助成額はいくらか。

税務福祉課長 1世帯当たり5千円の助成であり、260世帯分を予算化しています。対象者の選定はこれから行います。

12月定例会



改修工事予定の町営住宅3号棟

議員 町営住宅管理事業の測量設計業務委託料が600万円と、金額が大きいがこの内容は。

地域整備課長 町営住宅3号棟の長寿命化対策改修工事の実設計委託料で、国の積算基準に基づいて積算された金額です。

議員 生涯学習センター修繕料の64万8千円の内容は。

まちづくり課長 電話機、扉・天窓の修繕、非常用予備電源、蓄電池の交換を予定しています。

町政を問う

一般質問に6人が登壇

一般質問とは

定例会において、各議員が住民の代表として行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

奥山 謙三 議員

6ページ

- 1 サービス付き高齢者向け住宅の建設を
- 2 屋内児童遊戯施設の設置を

伊藤 欽一 議員

9ページ

- 1 町臨時職員の処遇について問う

斎藤 好彦 議員

7ページ

- 1 舟形町総合戦略1年目の成果は
- 2 野生鳥獣被害の早急な対策を

小国 浩文 議員

10ページ

- 1 冬期間の観光産業振興について

石山 和春 議員

8ページ

- 1 空き家対策今後の取り組みは

佐藤 勇 議員

11ページ

- 1 看護師養成機関の開設について町長の考えは
- 2 農業振興策を問う





奥山 謙三 議員

サービス付き高齢者向け住宅の建設を ニーズ調査を実施し、検討を進める

質問 国では、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に

提供される地域包括システムの構築を進めており、「住まい」については、自宅の他に「サービス付き高齢者向け住宅」が中心の役割を持つものとして位置付けられています。要介護認定に関わらず入居できる「サービス付き高齢者向け住宅」整備について町長の考えを伺います。

年度実施する予定です。その調査の中で、そうした住宅の必要性にも触れ、サービス付き高齢者向け住宅の需要を見極めながら検討していきたいと考えています。

屋内児童遊戯施設の設置を 新庄市に委託を検討中

質問 土日祭日に子どもを安心して遊ばせる屋内施設が舟形町にはない状況です。町には閉校になった施設があり、これらを活用しながら屋内児童遊戯施設を整備することは、さほど難しい問題ではないように考えますが、町長の考えを伺います。

町長 町が空き校舎を活用して屋内児童遊戯施設

を設置することについては、職員配置や遊具の整備、経費と需要の問題等もあり、難しいと考えています。定住自立圏構想の中で、新庄市で設置している「わらすこ広場」に業務を委託できな

いか、実現に向けて検討されており、その推移を見守りたいと考えています。



健康寿命を伸ばす百歳体操（福寿野公民館）

町長 町総合戦略の中にサービス付き高齢者向け住宅について検討することと言及しています。現在、町の支援事業として高齢者生活福祉センター事業の「ゆいの家」があります。その需要状況を参考にすると共に、第7次介護保険計画の策定のための介護予防・日常生活圏域のニーズ調査を今



わらすこ広場（新庄市屋内児童遊戯施設）



齋藤 好彦 議員

舟形町総合戦略1年目の成果は 全体的には進んでいない

質問 昨年10月に舟形町人口ビジョン・総合戦略が策定されました。本町の総合戦略は特に人口減少抑制について、今後5年間の基本方向、具体的な施策をまとめ、その指標の達成に向け、数値目標を明確にして進められています。総合戦略を策定、実践し一年経過後の成果について、町長の考えを伺います。

町長 今年8月の舟形町総合戦略推進会議において、「基本目標で設定した数値目標」や「重要業績評価指標」について、検証を行いました。会議では、「全体的にあまり進まなかった」という内容の評価であったと認識しています。

平成27年度は、高校生までの医療費の無料化、起業支援補助金、資格取得補助金、除雪機購入費補助金などの事業を行いました。また、平成28年度は、補助財源のない事業運営として継続しております。そうしたことから、地方創生については、今町に住んでいる人たちがこれからも「ずっと舟形に住んでもらえるため」の事業を展開すべく、さらに模索して取り組んでいきます。

野生鳥獣被害の早急な対策を 花火による初動対策を

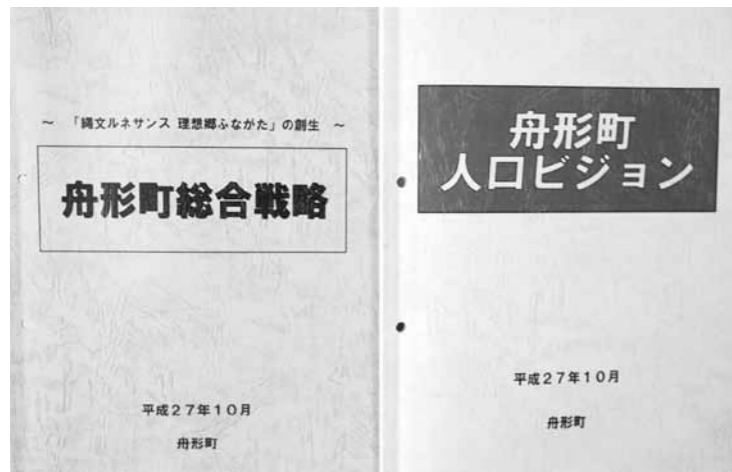
質問 本年は全国的にクマの出没が多く、本町でも防災無線により町民に注意を呼び掛けていますが、本町でのイノシシの出没件数が増加傾向にあり、自家野菜等への被害が広範囲に及んでいます。幸いにして、本町での人的被害は発生していませんが、事故が発生する前に対策が必要と思えます。町長の考えを伺います。



体重100kgを超えるイノシシの群れ（町内）

町長 町の対応としては、目撃情報による現地確認、関係機関への連絡、防災無線での周知徹底、町猟友会による必要に応じた駆除、捕獲対策を行なってきたところですが、今年度は猟友会に鳥獣

鳥獣被害に対する危機管理を徹底し、町民ひとりとして被害に遭わないように必要な対策を講じていきたいと考えています。



事業進展が見えない「総合戦略」



伊藤 欽一 議員

町臨時職員の処遇について問う

労働条件の向上を検討



親子ダンスを指導する臨時保育士

【質問】 総務省調査（2008年4月現在）で、常勤職員と臨時・非常勤を合わせた全職員に対する比率で、町村では3割を超え、その内、女性がほぼ8割であることが明らかとなり、すでに自治体行政は常勤職員と臨時職員の混合で担われている

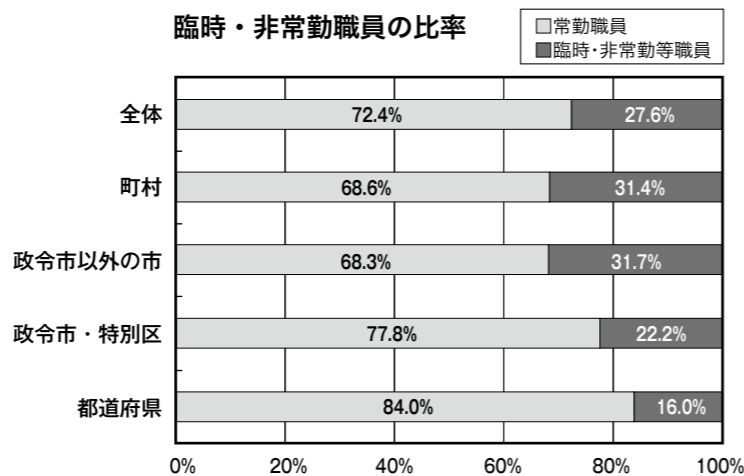
状態にあるとの調査報告が出ています。現在、当町では5割を超えた雇用状態になっているようです。業務に関する見受けられませんが、臨時職員にも以前は、些少ですが年末に手当を

支給していた時期もあったようですが、条例を制定していないために支給できなくなったと聞いています。今後、臨時職員の正しい位置付けと、労働条件の整備が必要と思われるのですが、町長の考えを伺います。

【町長】 本町の臨時職員は現在84名となっております。内訳は、保育所27名、学童保育所3名、小学校12名、中学校8名、地域おこし協力隊4名、その他は30名となっております。賃金について、事務筆耕の初年度は、月額6100円、資格所有者、学識経験者は、月額16万4千円から20万円程度となっております。経験年数に応じて、わずかながらですが、毎年昇給もしております。通勤手当や時間外手当の計算は、一般職員に準ずることとしており、有給休暇も労基法に基づいて付与しております。時間外命令は、やむを得ない場合に命令している程度で、

原則、臨時職員には出さないこととしています。臨時職員に対する賞与については以前支給していましたが、条例のない自治体では支給できないとの判例があり、加えて行財政改革など財政運営により支給していません。今後、臨時職員の正しい位置付けと労働条件の整備については、昨

今の社会情勢、町の財政状況も踏まえ、労働条件の向上や働きやすい環境の創出がどのようになっているか検討していきたいと考えています。



臨時・非常勤の比率は27.6%、市町村では3割を超える



石山 和春議員

空き家対策今後の取り組みは

町内会と連携をとり情報を共有しながら進める



管理不全な空き家

【質問】 平成24年に「空き家等の適正に関する条例」、平成27年に「空き家対策特別措置法」が施行されました。「老朽危険空き家除去補助金」も、平成27年度からは15万円

から50万円に増額されています。にもかかわらず手つかずのまま放置されているのが実態です。昨年11月までは管理不全な空き家は17戸となつていますが、月日がたつにつれ損傷が激しく増加するのは避けられないだろうと思います。地域住民に協力していただくといっても限度があります。連合町内会長との意見交換会でも話題になりました。

町民がいま高い関心を持ち、一刻も早い対策を望んでいると思いますが、今後の取り組みについて町長の考えを伺います。

【町長】 「舟形町空き家等の適正管理に関する条例」が制定され、町が調査権、助言、指導及び勧

告をすることができるよう環境を整備してきました。国の施策としては「空き家対策の推進に関する特別措置法」が施行されました。これは所有者に適正管理を義務付けるもので、助言、指導、勧告、命令することができ、立ち入り調査権があり行政代執行まで可能となっております。町の対策として、段階的に指導を行うことで、自主的な改善を促す対策を講じてきました。

一つは「老朽危険空き家除去補助金」です。補助額の上限を15万円から50万円に見直ししており、今後は補助要件や補助額の拡充など検討し推進を図っていききたいと思っております。

町で把握している空き家は50件、内利用可能14件、改修必要20件、管理不全16件です。法的措置が整備され、適切な管理は、第一義的には所有者または管理者の責任で行われるべきものです。今後も意向調査を継続的に実施し、利活用の対策喚起を図り、両面から展開したいと思っております。



通学路沿いの空き家につくった大きなスズメバチの巣



小国 浩文 議員

冬期間の観光産業振興について

意欲のある民間業者等に支援したい

【質問】 県においては、雪国・山形県の気候風土に培われてきた民俗文化を大切に、雪と親しむ付加価値を深めるため、雪国の文化や冬の楽しみを伝える団体、個人を対象に「やまがた雪文化マ



スノーモービルのコースとして期待される県民ゴルフ場

イスター」を創設し、11月中旬まで認定して今冬から活動をスタートさせる構想です。マイスター制度とは、冬の文化、楽しみ方を広め、新しい冬の暮らしを生み出すために新設され、マイスターの発案、企画による各種活動、また、希望者にノウハウを教える指導者としての役割を担うものです。

【町長】 平成27年度の県内主要観光地における入込数は、約4490万人となり、平成26年度に次ぐ過去2番目に多い入込数となっているようです。観光分類別では、全国的に知名度の高いスキー場、名所・旧跡、温泉、山岳、海水浴場等を中心とした観光客数となっています。最上地域の冬期間における観光客数は、各市町村とも温泉が中心で、年末年始に訪れる神社仏閣等に参拝する方々が多くを占めている状況です。この人数は、夏期

方策として、スノーモービルなどを活用した宿泊型体験観光を考え、冬期間の観光を目指す時だと思いますが、町長の考えを伺います。

【町長】 冬期間においては豪雪の影響もあり、民間の観光施設は閉鎖となり、現在、観光資源を活用して通年経営に結びついている企業は、残念ながら少ないのが現状です。県で今年度創設した「やまがた雪文化マイスター」認定制度には、10月末締めで10名程度の申請があるようです。町内にもマイスターとなりうる優れた人材がいると思



冬期間の観光産業に活用したいスノーモービル

いますので、今後、広報やお知らせ版でこの制度を広く周知したいと考えています。町でも、この制度を活用して冬期間の観光振興に意欲のある民間業者や新たな起業家がいれば、積極的に支援したいと考えています。

【質問】 最上広域市町村圏事務組合では、最上広域圏における深刻な看護師不足といった課題に向け、地域内において看護師の養成を図るための看護師養成機関の新規開設を目指すための準備事業が検討されています。この事業について町長の考えを伺います。

【町長】 5月には最上地域に看護師養成機関設置のための検討をするため、最上広域市町村圏事務組合内に開設準備専門員が配置されました。看護師不足は喫緊の課題であり早期対応が必要であると考えています。最上8市町村が統一した考えでの対策が望まれると思っています。

【質問】 ①鳥獣被害への危機意識を持ち、住処となる空き家、餌となる柿の実など、町民と共に環境整備をしていかなければと思うが、今後の対策を伺います。

【町長】 ①鳥獣の活動範囲が広域化となっていることや、家庭事情による空き家の増加、餌となる柿や栗、ユリネ等に対する対応など、今後の対策や対応が必要なのか、有害鳥獣の種類によってもその対策が異なると思われるので、どうすれば町

農業振興策を問う



作業効率が大幅に改善された大区画ほ場整備（小松地区）

【質問】 ②町の農業振興で最も急がなければならないのが農地整備であると思うが、今後の対策を伺います。

【町長】 ②県内の要望箇所が増しており、県としても各要望地区の同意率、営農計画等により順位付けしなければならぬ状況です。受益者の方々の合意形成や営農ビジョンについて話し合いを深め、集落営農や複数の経営体による法人化を視野に入れていただきながら、関係農家の皆さんと共に農

地整備の推進及び農業振興を図ってまいります。【農業委員会会長】 ③私の考える役割とは、農地の有効利用を推進し地域の活性化を推進することです。農地を守り農業振興の促進に寄与する団体を代表する機関であり、地域内での世話役だということ。農業委員及び推進委員が連携して、きめ細やかな活動を行い、目的達成のため活動していきたいと考えています。



佐藤 勇 議員

看護師養成機関の開設について町長の考えは

最上8市町村が統一した考えでの対策

「最上地域における看護職員の将来需要等に関するアンケート調査」結果抜粋(最上総合支庁、平成27年7月)

○看護職員の不足人数

施設の種類	定数上の不足人数	看護体制上の不足人数
病院	6	11
診療所	5	9
介護福祉施設	10	54
合計	21	74

74人も不足!! 看護師確保が喫緊の課題



【町長】 ①鳥獣の活動範囲が広域化となっていることや、家庭事情による空き家の増加、餌となる柿や栗、ユリネ等に対する対応など、今後の対策や対応が必要なのか、有害鳥獣の種類によってもその対策が異なると思われるので、どうすれば町

民の安全安心が保たれるのかなど、県や町猟友会などと協議検討したいと考えています。

【町長】 ②県内の要望箇所が増しており、県としても各要望地区の同意率、営農計画等により順位付けしなければならぬ状況です。受益者の方々の合意形成や営農ビジョンについて話し合いを深め、集落営農や複数の経営体による法人化を視野に入れていただきながら、関係農家の皆さんと共に農

最上の地域医療の現状

最上地方町村議会研修会 (10月14日)

大蔵村中央公民館において、最上総合支庁保健福祉環境部長の船田孝夫氏から次の内容について講演をいただきました。

- ①最上地域の医療体制等に関する現状と課題
- ②地域の医療体制の確保・充実に向けたこれまでの取り組み
- ③これからの最上地域の医療体制の確保・充実に向けて

以上の講演を受け、県立新庄病院の改築をはじめ、最上の医療を考える時期だと痛感させられました。



これからの医療体制のあり方に聴き入る町村議員



安倍総理の成長戦略を熱く語る講師

TPPの行方と今後の政治経済について

県町村議会議員研修会 (10月17日)

山形国際交流プラザで開催された町村議会議員研修会に参加し、「TPPと日本農業の行方と今後の政治経済」と題しての講演をいただきました。講師の農政ジャーナリストの石井勇人氏からはTPP問題について、また、政治経済ジャーナリストの須田慎一郎氏からは、安倍総理が考えているこれからの成長戦略として、障がい者の就労に力を入れ、就労人口減少対策に取り組むという、たいへん興味深いお話をいただきました。

請願

12月定例会で審査した請願は次のとおりです。

●30年産を目標とする生産数量目標配分の見直しにかかる舟形町農業再生協議会の機能発揮に関する件について

採択

- 請願者 新庄もがみ農業協同組合
 代表理事組合長 安 食 賢 一
 新庄もがみ農協農政対策本部
 本部長 安 食 賢 一

平成25年12月に政府が決定した「農林水産業・地域の活力創造プラン」において、「30年産を目標に、行政による生産数量目標の配分に頼らずとも、国が策定する需給見通し等を踏まえつつ生産者や集荷業者・団体が中心となって需要に応じた生産に取り組む」との方向性が示されました。

米の需給と価格の安定は、生産者・消費者双方にとって重要であり、平成30年産以降においても行政の積極的な関与と指導のもと、すべての産地・生産者によるオール日本・山形・市町村で需給調整に取り組まなければなりません。

そのためには、地域農業再生協議会が求められる機能を引き続き発揮していく必要があります。つきましては、舟形町農業再生協議会にかかる十分な予算・要員等を確保するとともに、今後とも一部の生産者や団体のみではなくすべての関係者の参画を促すよう、働きかけをお願いするものです。

議員発議

●地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出

(趣旨)

住民の代表として、議会がこれまで以上にまちづくりをしっかりかかわっていくためには、幅広い世代の方々が議員に立候補したいと思うような環境づくりが必要である。そのためには、地方議会議員の年金制度を時代に相応しいものにする。ことで、議員を志す新たな人材確保につながるものと考え、国や政府に対し強く要望するものである。

●哀悼決議を可決 (平成29年第一回臨時会)

去る1月13日に元舟形町議会議長 佐藤勝氏が逝去されました。

顧みるに、佐藤元議長は昭和62年、舟形町議会議員に初当選されて以来、6回の当選を果たされ、平成23年に退任なさるまで、永きにわたり町政の発展にご貢献されました。

その間、数々の役職を歴任し、平成15年5月1日から平成21年4月30日までの6年間にわたり議長の大任を担い、すぐれた見識と熱意をもって、議会運営にご尽力されました。

ここに、生前のご功績を讃え、ご遺族並びに舟形町の前途に限りなきご加護を賜りますことをお願いし、謹んで哀悼の意を表します。

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意



大場 一善氏
長沢第1 (67歳)

任期は
平成29年2月23日より
平成32年2月22日まで

人権擁護委員の推薦に同意



小野寺 新一氏
舟形第2 (68歳)

任期は
平成29年 4月1日より
平成32年3月31日まで

人権擁護委員法に基づき、山形地方事務局からの候補者の推薦依頼により提案され、同意したものです。

表紙のごとば

神社の「しめ縄」と同様に、各家庭の玄関に「しめ飾り」を置くことで、家と神社は年神様を迎える神聖な場所になるという由来があり、今年で5回目となる「しめ飾りづくり講習会」が、わら細工愛好会のみなさんのご指導で5会場、総勢59名の参加者により開催されました。新年の願いを込め一生懸命に縄をなう基礎を作り、ウラジロ、ゆずり葉、水引、御幣、扇などを取り付け、半日で見事な縁起物が完成しました。

自分で作った「しめ飾り」を手し、格別な気持ちでの記念写真です。



次回の定例会は

3月7日(火)
~15日(水)

までの予定です。

どなたでも議事を傍聴することができます。皆様の傍聴をお待ちしています。



舟形町に嫁いで来た、お嫁さんをご紹介します。

元がったなめ

シリーズ



今回は、尾花沢市から大平の伊藤雄太さんに嫁いで来た沙織（旧姓 岸）さんです。
皆さんよろしくお願いします。

♥どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか？
友人の紹介で知り合いました。

♥嫁いできて、どんなイメージを持ちましたか？
家族や親せき、近所の皆さんによくしていたでいて、とても助けられています。皆さん優しく声をかけてくださるので、楽しく過ごしています。

♥舟形町の良い所・悪い所は？
子育て支援に力を入れていて、初めての出産でも安心して育児ができる町だと思います。

しかし、なかなか知ってもらえていないのが残念です。温泉や特産物なども素晴らしい物がたくさんあるので、情報をもっと発信していければと思います。

♥舟形町に望むことはありますか？
庄内・新庄への通過する町ではなくて、町外の人が「舟形の○○に行こう」と目的地になるような場所がもう少し増えればいいなと思います。

声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

明けましておめでとございませう。

新年にあたり昨年を振り返ってみますと、リオデジャネイロオリンピックでは日本人選手の大活躍という明るいニュースがありました。一方では熊本地震の被害、突風、竜巻被害が各地で発生するというニュースを耳にしました。舟形町でも台風9号による影響は、堀内地区で甚大な被害が発生しました。松橋川の氾濫、用水路の陥没、沢内川でも橋の流出護岸の決壊による水田への土砂、コンクリートの流出等々考えられない状況でした。私の住む洲崎地区は、昔から自然災害は少なく安全な所だと言いつつ聞かされてきました。「今まで何もないから大丈夫」は通用しないと思います。これからは「裏の山、崖が崩れるかもしれない」という危機感を持つ必要があると思います。今回の災害から、今後は地区、町内の危険箇所の再点検、避難所は本当に大丈夫かを再検証し、今まで以上に安全に暮らせる町にしたいです。



荒澤 広光 さん
(洲崎)

編集後記

明けましておめでとございませう。今年は何年にも降雪が少ない穏やかな年明けとなりました。

日本経済は年末にかけて円安株高が進むなど変化が見えてきました。アメリカ次期大統領の経済政策など不確実性はあるものの期待感が高く、今年は足踏みから抜け出す好機となるかもしれないとの報道もあり、地方にも好循環してほしいものです。

当町は昨年町長が変わり、これから手腕の発揮できる1年になるものと期待しています。議会広報は、読みやすい紙面伝わる紙面になっているか、検討しながら進めてまいりますので、ご意見を宜しく願います。終わりに、今年が皆様にとりまして素晴らしい一年であることをご祈念申し上げます。
(奥山 謙三記)

発行責任者

- 議長 八 謙 太
 議会広報常任委員会
 委員長 藤 好 彦
 副委員長 奥 山 謙 三
 委員 佐 藤 三 勇
 委員 石 山 春 文
 委員 小 国 和 浩
 委員 伊 藤 浩 文